実践団体情報（1 団体あたり 1 回だけ記入する内容です）

必要に応じてセル（表の枠）の高さを調整していただいて構いません

記入日	西暦 2020 年 1 月 14 日（2019 年度のチャレンジプラン）
実践団体名	ミラクルウィッシュ
代表者名	益田紗希子
プラン全体のタイトル 内容を端的に示し，中身を見たくなるタイトルをつけてください．計画時のタイトルと同じである必要はありません	子育て中のママが防災・減災をキーワードにつながる 親子の防災部
電話番号	090-4038-5270
メールアドレス	mwish2014@yahoo.co.jp
実践団体の説明 団体の来歴や特徴などを書いてください	２０１４年１月、兵庫県三田市にて乳幼児を育てるママが集い「子育てしやすい街『三田』をもっと楽しみたい」「三田での子育てに小さなミラクルを起こしたい」と活動を開始。「こんな事をしてみたい、あったらいいな」と思うことを仲間で共に考え具現化することで、「地域で支えあえる人との出会いや支えあいの仕組みづくり」の場を作り、「さんだ女子防災部」の他、ママのやりたいことを応援する「ミラクルママ講師」、子どもたちがお金の仕組みと大切さを体感できるイベント「子ども店長」等を企画開催し、三田市のみならず兵庫、大阪と地域貢献に努めている
所属メンバー 団体のメンバーについてお名前やご所属，役割などを差し支えない範囲で書いてください	代表：益田紗希子　事務：板東里奈・大前美寿々 メンバー：小山阿弥　他
活動地域 〇〇地方・〇〇校区など活動地域の範囲に合わせて記載してください．活動範囲が小さい場合には都道府県名など場所が特定できる情報を入れてください	兵庫県三田市、尼崎市、神戸市北区、丹波篠山市 大阪府吹田市、池田市、箕面市、大阪市阿倍野区
活動開始時期・結成時期	2014 年 1 月
過去の活動履歴・受賞歴 これまで行ってきた活動や受賞歴（チャレンジプラン以外も含む）をご記入ください	2017 年三田市協働事業 2018 年県政 150 周年記念件民連携事業

プラン全体の概要	２０１７年に「さんだ女子防災部」を設立し、三田市と協働で事業を行い、２０１８年は自主事業として活動しましたが、なかなかコミュニティとしての広がりが見えていない現状を真摯に受け止め、今回こちらのプランを活用させていただくことにより、更に一人ひとりの防災意識が高まるコミュニティを作っていきたいと考え応募させていただきました。地域の特性を理解し、地域に根差した「子育て中の母親の視点から考える防災コミュニティ」をつくることで、母親たちが安心・安全な子育てを行うことができるだけでなく、隣人との人間関係、助け合いの気持ちが希薄化している現代社会において、隣人の顔を見ながら共に、子育てやまちづくりのできる環境を整備することで、災害時に正しい行動ができる仲間の輪づくり、地域づくりに努めていきたいと考えました。三田市は転勤族も多く、昔からの地域住民に加え、特に子育て世代は他市・他府県より夫の仕事の都合で移り住んでくる家庭が多いのも特徴です。孤立した子育てにならないためにも、その他地域での防災への関心がある場所に出向いていき、三田のみならず関西での「防災」をキーワードに、たくましく生き抜けるママコミュニティを育てます。

プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4 月	① 三田市消防大会 ② 阿倍野区ふらっとひろばままちっちにて防災講座	① 防災グッズ・パネルの準備 ② 講座の告知・参加者募集	① 30 名近くの親子が立ち寄ってくださり、啓発することができた ② 10 組の乳幼児親子が参加。実際大阪北部地震の話なども交えお話し。
5 月	③ 三田市防災・減災フェスティバル ④ 尼崎キューズモールにて防災講座	③ お菓子ポーチワークショップ準備 ④ 講座の告知・参加者募集 尼崎の地震に関する情報を市役所に問い合わす	③ 150 名の方がブースへ立ち寄り 20 名がワークショップを行う ④ 9 組の親子が参加。防災グッズに興味津々でした。
6 月	⑤ 阿倍野区バラコードブレスレットづくり ⑥ 阿倍野防災センタータスカル見学 ⑦ 箕面キューズモールにて防災講座 ⑧ 三田市サークルオハナプロジェクトにて防災講座 ⑨ オハナフェスにて子どもの防災リュックの展示	⑤ 防災士増田氏への依頼・講座の告知・参加者募集・会場手配 ⑥ 見学の予約・会場下見 ⑦ 講座の告知・参加者募集 ⑧ 参加者が聞きたい内容を事前にヒアリングする ⑨ こどもにとってあるといい防災グッズを準備	⑤ 15 名の親子が参加。バラコードを作りながら、防災に役立つ情報などを提供。小学生以下の子どもさんは「きけんはっけん」ゲームをし、防災シミュレーションをする。 ⑥ 5 組の親子参加。地震の体験により、より備えについて考えられた。 ⑦ 10 組の親子が参加。今回パパの参加も多くみられた ⑧ 5 人のママが参加。三田市の防災と備蓄についてお話ししました。 ⑨ 展示し、来場者さんへ啓発。
7 月	⑩ 尼崎キューズモール 七夕まつり 防災ブース出展 ⑪ 三田市液体ミルク試飲と身近なものが災害時役に立つワークショップ	⑩ 100 均防災グッズを新たに追加する。アレルギーマーク使用許可をとる ⑪ 防災士釜渕氏に講師依頼。三田市から液体ミルク提供	⑩ 20 名の方が立ち寄ってくださり、アレルギーマークを防災リュックに着けることをご存知ない方もたくさんいた。 ⑪ 腹帯・ビニール袋を活用体験。液体ミルクをがぶがぶ飲んでいたお子さんが印象的だった。
9 月	⑫ 池田市男女共生サロン事業にて防災講座 ⑬ パナソニックスタジアムにて防災ブース出展 ⑭ 吹田 JC 主催防災イベントにて防災ブース出展 ⑮ 住之江区主催子供向け防災ワークショップ	⑫ 担当者との打ち合わせ・池田市の危機管理課への災害予測などを問い合わせる ⑬ α化米の試食・液体ミルク・防災クイズの準備 ⑭ 吹田危機管理課にα化米・防災クイズ手配 ⑮ ぼうさいまちがいさがしの練習・バラコードブレスレット準備	⑫ 5 組の親子が参加。トイレの備蓄やサバイバルシートの体験 ⑬ 50 名以上の方にクイズに答えてもらい防災について考えてもらう機会ができた。 ⑭ α化米のおにぎりを 200 個配布 たくさんの子どもたちがクイズに回答してくれた ⑮ 20 人以上の小学生が参加。
10 月	⑯ オンライン防災講座	⑯ 事前募集・参加者のニーズ調査	⑯ 8 名の関東・関西・中部・四国のママが参加
11 月	⑰ 三田市ミラクル親子パーク in さんだにて防災講演会 ⑱ あべの親子防災部キックオフ 防災どうしてる？おしゃべり会 ⑲ 三田市防災訓練 ⑳ 千里子どもメディカルラリーにて 小学生向け防災クイズ・α化米の試食 ㉑ 兵庫防災フェスタにて乳幼児向け防災講座	⑰ 辻由起子氏に講師依頼、飲むご飯の試食準備、ブースの展示準備。 ⑱ 出た意見をまとめるために模造紙やペンや付箋を準備。事前募集 ⑲ 事前準備なし ⑳ クイズの準備・試食の準備 ㉑ 主催者との打ち合わせ、トイレの備蓄についての準備	⑰ イベントとの同時開催で 1200 名の来場者。ボランティアの高校生にもかかわってもらったこともよかった。 ⑱ 10 組の親子が参加。たくさんの意見がでて、今地震が起こったらという想定で避難訓練もしました。 ⑲ 段ボールベッドや簡易トイレ炊き出しなどを体験 ⑳ 80 名の 4 年生～6 年生にクイズ、試食をしてもらう。 ㉑ 10 組の親子が参加。簡易トイレの体験や防止グッズの紹介をした。
12 月	㉒ いけだ防災フェスタにて防災ブース出展	㉒ 防災グッズの準備、掲示用ポスター準備	㉓ 60 名以上の方がブースに立ち寄ってくださり防災グッズをみてくれた。
1 月	23 あべの親子防災部 非常食体験 24 尼崎大原クリニックにて妊婦さん向け防災講座 25 JCOM にて防災グッズ等の啓発	23 非常食の準備、参加者を事前に募集 24 担当者との打ち合わせ、液体ミルクの試飲準備 25 担当者と打ち合わせをし、スタジオにて事前に撮影	
2 月	26 阿倍野区子育て連絡協議会にて防災講座 27 大阪にて関西防災部交流会	26 担当者との打ち合わせ、α化米・液体ミルクの試食準備 27 16 団体が集まり、活動紹介、抱えている悩みや問題などを共有	
3 月	28 あべの防災フェスタ出展 29 ミラクル親子パーク in 篠山防災啓発ブース 30 ままちっち festa 防災啓発ブース	28 担当者との打ち合わせ避難所体験準備 29 防災グッズの展示、ビニール袋でカッパづくり準備 30 防災グッズ展示物・防災クイズ準備	

プラン全体の反省点・課題・感想	プランの計画とは大きく変わってしまったが、乳幼児が集まるいろいろな場所でお話しをすることができ、ママたちの不安や、知りたいを一緒に考える場をたくさん作ることができた。一緒に活動したいといってくれるママたちや新たに防災部も立ち上げることができたことも、このプランにチャレンジしたからできたことだと感じている。今後の課題としては、ママ防災団体と連携していく事、乳幼児親世代に特化した防災情報発信サイトの運営をしていこうと思っている。
今後の活動予定	乳幼児に特化した防災情報サイトを作り、運営していく。 他の防災部との連携を図る 今年度同様いざという時に備えた講座やイベントを定期的に開催していく。 三田市や大阪市阿倍野区の行政との連携を図る。